

# 貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

北海道北斗市清水川142番地12

株式会社 函館なとり

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>14,287</b>	<b>流動負債</b>	<b>691,968</b>
現金及び預金	3,534	支払手形	15,760
売掛金	4,030	短期借入金	519,000
貯蔵品	1,754	1年内返済予定の長期借入金	55,948
前払費用	4,999	リース債務	1,165
貸倒引当金	△ 31	未払金	52,120
		未払費用	11,920
<b>固定資産</b>	<b>962,439</b>	未払法人税等	5,841
(有形固定資産)	960,853	未払消費税等	9,086
建物	604,774	預り金	1,926
構築物	10,691	賞与引当金	19,200
機械及び装置	90,008		
車両運搬具	247	<b>固定負債</b>	<b>191,289</b>
工具器具備品	1,600	長期借入金	181,493
土地	248,480	リース債務	3,885
リース資産	5,051	退職給付引当金	5,911
(無形固定資産)	818		
電話加入権	818	<b>負債合計</b>	<b>883,258</b>
(投資その他の資産)	768	(純資産の部)	
出資金	20	<b>株主資本</b>	<b>93,468</b>
差入保証金	71	資本金	10,000
その他の投資	676	利益剰余金	83,468
		その他利益剰余金	83,468
		繰越利益剰余金	83,468
		(うち当期純利益)	1,320
		<b>純資産合計</b>	<b>93,468</b>
<b>資産合計</b>	<b>976,727</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>976,727</b>

※第17期

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当事項はありません。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
該当事項はありません。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産……………定率法  
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法を採用しております。
- (4) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ③ 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。  
なお、数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
- ① リース取引の処理方法……………リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- ② 消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,683,291 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権および金銭債務	
短期金銭債権	3,864 千円
短期金銭債務	<u>11,025 千円</u>
合計	<u><u>14,889 千円</u></u>

## 3. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	467,343 円 96 銭
(2) 1株当たり当期純利益	6,600 円 35 銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算書上の当期純利益	1,320 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	1,320 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

## 4. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。